



青少年のための  
アンサンブルのよろこび  セミナー

プロから学ぶ「音楽的」コミュニケーション

2021 春

募集要項



主催 石川県ピアノ協会  
助成 公益財団法人いしかわ県民文化振興基金事業  
協力 株式会社開進堂楽器  
後援 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会、PTNA 金沢西支部、北國新聞社

「心豊かな音楽家」になるための重要な素養を、室内楽に造詣の深いプロの演奏家から直接学ぶことができる贅沢な‘アンサンブルセミナー’です。多感な青少年時代にこそ、このような機会が必要であると考え、あえて青少年を対象として企画しました。アンサンブルレッスンでは巨匠トリオの三氏に同席していただき、アンサンブルを通しての音楽作りや曲を仕上げる過程などを、受講生、聴講生と共に学びます。このことはソロの演奏にも素晴らしい効果をもたらすものと確信しております。

演奏のテクニックだけではなく、柔軟な感性や音楽性、コミュニケーション能力を育むための有意義な機会となり、ひとりの人間として人格を高め世界に羽ばたける「心豊かな音楽家」の育成を目的とします。

日 時 2021 年 3 月 29 日(月) ～ 3 月 31 日(水)  
会 場 石川県立音楽堂 交流ホール  
対 象 小学校高学年～大学生のヴァイオリン、チェロ、ピアノの学習者  
コ ー ス ヴァイオリンデュオコース、チェロデュオコース、ピアノトリオコース  
参 加 費 40,000 円 (1名あたり)  
聴 講 料 2,000 円 (1日あたり)

※当日お支払ください。保護者1名は付き添いのため免除とします。

募集人数 ピアノ / ヴァイオリン / チェロ 8 組程度  
お申込はそれぞれ各自でお申し込みいただきます。

**できるだけ共演者を組んでお申込みください。**

共演者がいない場合は、こちらで手配いたします。

申し込み 12 月 20 日まで にご入金の上、  
申込用紙を郵送、または同内容をメールにて送信してください。

振 込 先 郵便振替 ( 石川県ピアノ協会 口座番号 00730-1-41367 )  
ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番号 079 店名〇七九店 口座番号 0041367

申込締切 2020 年 12 月 20 日 定員になり次第締め切りとさせていただきます。  
講 師 ヴァイオリン:徳永 二男 チェロ:堤 剛 ピアノ:練木 繁夫



お問い合わせ、申し込み  
石川県ピアノ協会事務局 太田優実  
〒920-0204 金沢市千田町イ53-6  
TEL 076(258)0973  
Eメール admin@piano-ishikawa.jp

**スケジュール**(予定) 3日間の中にアンサンブルレッスン 45分×2回のレッスンです。

|         |                                               |                           |
|---------|-----------------------------------------------|---------------------------|
| 3/29(月) | アンサンブルレッスン                                    | 14:00～19:00               |
| 3/30(火) | アンサンブルレッスン                                    | 10:00～18:00               |
| 3/31(水) | アンサンブルレッスン<br>★ 修了コンサート ★<br>講師によるトリオの演奏もあります | 10:00～12:00<br>14:30 開演予定 |



※受講者は他のグループのレッスンを聴講することができます。

**受講曲例** ソナチネ、ソナタは全て単一楽章とします。

|        |                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ヴァイオリン | シューベルト／ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ<br>モーツァルトまたはベートヴェン／ヴァイオリンソナタ                                                |
| チェロ    | ヴィヴァルディ／チェロソナタ<br>マルチェロ／チェロソナタ      その他任意の曲                                                           |
| ピアノトリオ | ハイドン／ピアノ三重奏曲 ト長調 Hob.XV: 25 「ジプシー」<br>ベートーヴェン／ピアノ三重奏曲 変ロ長調 Op.11 「街の歌」<br>モーツァルト／ピアノ三重奏曲      その他任意の曲 |

### 感染対策について

感染予防を徹底し万全の対策を取った上で運営します。ご理解、ご協力の程、お願いいたします。

\*マスクを常時着用し、密にならないよう心掛けてください。

\*毎日の検温や体調チェックにご協力ください。発熱や体調不良の場合は、レッスンをお休みしてください。

\*館内では、こまめな消毒や、手洗い、うがいをお願いします。ピアノを弾く前後は必ず手指の消毒をしてください。

\*2週間以内に、新型コロナウイルス感染とされた方の濃厚接触にあたる場合や、入国制限のある国への渡航、入国後の観察期間中の方と接触がある場合は、受講をお断りさせていただきます。





© K\_Miura

## ヴァイオリン：徳永 二男 Tsugio Tokunaga

人気、実力ともに日本を代表する演奏家。

ヴァイオリニストの父茂および鷺見三郎氏に師事。桐朋学園にて、齋藤秀雄氏に師事。

1966年 当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。

1968年 文化庁在外派遣研修生としてベルリンへ留学、ミシェル・シュヴァルベ氏に師事。

1976年 NHK 交響楽団のコンサートマスターに就任。その後首席第一コンサートマスターを経て、ソロ・コンサートマスターの重責を担い、長年 NHK 交響楽団の“顔”として抜群の知名度と人気を誇る。

NHK 交響楽団在籍時代よりヨーロッパ、アメリカ各地から招かれ、ケルンでの現代音楽祭、ベルリンの日独センター柿落とし公演での、ヴォルフガング・サヴァリッシュ氏との室内楽コンサート、ニューヨークのカーネギーホールでの室内楽コンサートに出演して絶賛を博した。

1994年にNHK 交響楽団を退団し、ソロ、室内楽に専念。

1992年より鎌倉芸術館ソリストを主宰し、1995年から2013年までJTアートホール室内楽シリーズの音楽監督を、1996年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務めるなど、日本音楽界の中心的立場を確固たるものとしている。

これまで、モントリオール交響楽団やイギリス室内管弦楽団、ウィーン室内管弦楽団をはじめ国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。また、リサイタル、室内楽の分野でも、全国で数多くの演奏会を行っているほか、トーク・コンサート、タンゴ・コンサートなど幅広く活躍している。

2016年には、楽壇生活50周年を迎え、多年の功績に文化庁長官表彰を受ける。

近年は指揮活動もスタートさせており、東京フィル、広島響、宮崎国際音楽祭管弦楽団などと共演。2017年には、ギドン・クレーメルをソリストに迎え、クレメラータ・バルチカと広響の合同オーケストラを指揮する。

CDは、ブラームスのヴァイオリン・ソナタ全集、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全集や、バガニーニのカプリス全曲など多数リリース。

最新盤は、2017年にリリースした「Tango」。

桐朋学園大学特任教授。



© 鶴島徳恭

## チェロ：堤 剛 Tsuyoshi Tsutsumi

名実ともに日本を代表するチェリスト。

幼少から父に手ほどきを受け、1950年に8歳で第1回リサイタルを開いた。桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事、その後1961年アメリカ・インディアナ大学に留学し、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。63年よりシュタルケル教授の助手を務める。同年ミュンヘン国際コンクールで第2位、ブダペストでのカザルス国際コンクールで第1位入賞を果たし、以後内外での本格的な活動を開始。現在に至るまで、日本、北米、ヨーロッパ各地、オーストラリア、中南米、アジアなど世界各地で定期的に招かれ、オーケストラとの協演、リサイタルを行っている。

その他主な受賞は、1971年鳥井音楽賞（現サントリー音楽賞）、1973年「ウジェーヌ・イザイ・メダル」（ベルギー）、1974年「芸術祭放送大賞」、1980年「芸術祭優秀賞、レコードアカデミー賞」、1987年「モービル音楽賞、N響有馬賞」、1993年「日本芸術院賞」、1998年「中島健蔵音楽賞」などを受賞。2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。

2013年、文化功労者に選出、2014年インディアナ大学より「トーマス・ハート・ベントン ムーラルメダル」、2016年「ウィーン市功労名誉金章」受章、「2016年度毎日芸術賞音楽部門」、2018年「文化庁創立五十周年記念表彰」など多数受賞、表彰されている。

近年では、サントリーホール、みなとみらいホール、軽井沢大賀ホール、札幌 kitara コンサートホール等でのJ.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲全曲演奏会、ピアノのブッフビンダーとのベートーヴェン：チェロ・ソナタ全曲演奏会など益々精力的に活動の場を広げている。録音における活躍も目ざましく、近年では2017年にピアニスト萩原麻未と「フランク & R. シュトラウス：ソナタ」がリリースされ、絶賛を浴びている。

アメリカ・イリノイ大学教授（1984～1988年）、インディアナ大学教授（1988～2006年）を経て、現在、桐朋学園大学特命教授（前学長2004～2013年）、霧島国際音楽祭音楽監督。公益財団法人サントリー芸術財団代表理事、サントリーホール館長。日本芸術院会員。公益社団法人日本演奏連盟理事長、韓国国立芸術大学客員教授に就任。



© 大窪 進

## ピアノ：練木 繁夫 Shigeo Neriki

1976年 ツーソンのバイエル・ピアノ・コンクールと1979年 ピッツバーグのスリー・リヴァース・ピアノ・コンクールで1位に輝いた。

これまでにボストン響、シカゴ響、ピッツバーグ響、ワシントン・ナショナル響等と共演。アメリカ国外でもメキシコ国立響、フランス放送管、そしてN響を含む日本の主要なオーケストラと共演。

また、室内楽奏者としてもヨーロッパ、アジア、北米のコンサートやフェスティバルに数多く出演。

1976年より、チェロの巨匠ヤーノシュ・シュタルケルとともに世界各地を公演した。

1990年 シュタルケルと収録したD. ボッパの作品のCDが、グラミー賞のソリスト部門にノミネートされた。

1993年 第24回サントリー音楽賞を受賞。

1997年 オール・シューマン・プログラムの「パピヨン」が、文化庁芸術祭賞作品賞を受賞。

2009年 紀尾井ホールでの「デビュー30周年記念リサイタル」は、各方面から高い評価を得た。

1981年～2015年までインディアナ州立大学で教鞭をとった。

現在、桐朋学園大学教授、国立音楽大学招聘教授、相愛学園大学客員教授、エリザベート音楽大学非常勤講師、霧島国際音楽祭企画委員。

リサイタルのみならず、室内楽、オーケストラ共演と幅広く活躍中。



# 申 込 書

(コピー可)

ふりがな

氏名 \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_\_

学校名 \_\_\_\_\_ 学年 \_\_\_\_\_

〒

ご住所 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_ 入金日 \_\_\_\_\_

師事している先生 \_\_\_\_\_

※必ず師事している先生の了承を得てお申し込みください。

楽器

☐ ヴァイオリン      ☐ チェロ      ☐ ピアノ

共演者の有無・楽器

☐ 有      お名前 \_\_\_\_\_ (楽器 \_\_\_\_\_)

お名前 \_\_\_\_\_ (楽器 \_\_\_\_\_)

☐ 無

希望曲目

これまでの音楽歴、室内楽経験の有無などお書きください。